

とよさと

議会だより

TOYOSATO
ASSEMBLY

第50号

2012年8月



議会改革をめざし 新たな飛躍を

6月定例会

平成24年度

一般会計補正予算などを認定		2～3
町内福祉施設を視察研修		4～5
一般質問 ここが聞きたい		5～9
給食センターなどを視察		10

9月定例会は

9月10日(月)

開催予定です



江州音頭発祥の地

一般会計補正

31,327,000円

- 町長から提出された案件は13件（内訳は条例1件、条例改正3件、補正予算6件、報告3件）と専決処分の承認4件（内訳は条例改正1件、補正予算3件）でした。

また、議会から意見書1件、請願2件提出されました。

- 6月定例会初日（6月15日）に町から提出された議案および意見書はすべて原案どおり可決し、請願2件を委員会に付託しました。
可決された意見書は、豊郷町議会として滋賀県知事に送付しました。

6月
定例会

6月15日
～
6月21日

適正な生活保護制度の運用推進を求める意見書

生活保護は、憲法第25条に定められた「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障するために設けられたセーフティネットの制度であり、生活に最低限必要な収入を得る労働が出来ず、貯蓄も、親族からの支援もないなど、保護しなければ生命に影響するなどやむを得ない場合に生活保護の対象者とするものです。

そして生活保護法には、民法に定める扶養義務者の扶養は生活保護に優先する旨が明記をされており、民法上扶養義務を負う三親等以内の親族による自助・共助が大前提にあるはずで

しかし現実には、善良な納税者の皆さんにとって受け入れがたいと感じられるような事例も発生しており、一方では低賃金で働いている労働者よりも保護費受給者の方が豊かな生活実態にあるなど、自立を謳いながら労働意欲を削いでいる現制度の矛盾も重なって、社会の様々な歪は不公平感を益々大きなものとなっています。

本来に必要な方々への最終的セーフティネットとして欠かすことが出来ない重要な制度として生活保護を位置づけると共に、一方、生活保護を受けることへの意識やモラルが変化してきた今日では、受給状況の検証を厳格に行い、適切な対応を執ることが社会の公平性を維持する上からも必要不可欠です。

そこで、ケースワーカーの増員により状況把握を向上させると共に監視体制の強化を図るなど、生活保護制度の適正な運用維持を推進されるよう強く要望するものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月15日

滋賀県知事 嘉田由紀子 様

滋賀県犬上郡豊郷町議会

- 一般質問は5議員が行いました。

- 最終日（21日）に平成23年12月および平成24年3月定例会から継続審査となっていた請願2件を含め、各常任委員長から委員会報告がされ、請願1件は不採択、3件は引き続き継続審査することに決定されました。

審 議 の 結 果

○=賛成 ×=反対

平成24年6月豊郷町議会定例会	全員 賛成	議 員 名											
採決結果整理一覧		前田	西山	西澤 (博)	鈴木	西澤 (き)	西村	佐々木	中島	河合	今村	北川	堀
専決処分につき承認を求めることについて (豊郷町税条例の一部を改正する条例)		○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	
専決処分につき承認を求めることについて (平成 23 年度豊郷町一般会計補正予算 (第 7 号))		○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	
専決処分につき承認を求めることについて (平成 23 年度豊郷町下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号))		○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	
専決処分につき承認を求めることについて (平成 23 年度豊郷町簡易水道事業特別会計補正予算 (第 4 号))		○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	
豊郷町認可地縁団体印鑑条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
豊郷町印鑑条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
豊郷町手数料徴収条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
豊郷町課設置条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成 24 年度豊郷町一般会計補正予算 (第 1 号)		○	○	○	×	○	○	○	○	退席	×	○	
平成 24 年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予 算 (第 1 号)		○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	
平成 24 年度豊郷町簡易水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)		○	○	○	×	○	○	○	○	退席	×	○	
平成 24 年度豊郷町下水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)		○	○	○	×	○	○	○	○	退席	×	○	
平成 24 年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)		○	○	○	×	○	○	○	○	退席	×	○	
平成 24 年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計補正 予算 (第 1 号)		○	○	○	×	○	○	○	○	退席	×	○	
適正な生活保護制度の運用推進を求める意見書		○	○	○	×	○	○	○	○	退席	×	○	
議員派遣の件		○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	
「保育所運営費国庫負担金を廃止しないことを求める 意見書」の採択を求める請願書 (継続審査)		×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	
豊日中学校での自校方式によるランチルーム給食の早 期実現を求める請願書 (継続審査)	付託	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	
「こんな時に消費税増税は行わないこと」との意見書 の提出を求める請願書 (継続審査)	付託	○	○	○	×	○	○	○	○	退席	×	○	
運転停止中の原子力発電所について、現時点での再稼 働をしないことを求める請願 (継続審査)	付託	○	○	○	×	○	○	○	○	退席	×	○	

(議長は採決に加わらないため空白)

3常任委員会合同視察研修

視察場所

- ①ケアパートメント 桜3番館（石畑）
- ②ステップアップ21（八目）
- ③デイサービスセンター 元気村（安食南）
- ④あったかホーム 恭やん（雨降野）
- ⑤あすなろ福祉会（沢）

総務、文教民生、産業建設の3常任委員会が5月17日に町内福祉施設の現状について視察研修を実施しました。参加者9名の施設に対する感想を掲載します。

堀 常一

今回の視察で感じた事は、どの施設も衛生的でしたし、それぞれの特徴ある運営方法がしっかりと整備されていると思いました。財政を含め高齢者社会はまった無し。地域をより元気つけ豊かなまちづくりに邁進して参ります。

中島 幸子

町内の福祉施設の視察・研修にて、特に、「元気村」を訪問して、町内のお年寄りがみなさん元気に笑顔で、手や足を動かしながら輪になって楽しんでおられた事がとても印象に残りました。いつまでも達者でいたいものです。

佐々木 康雄

石畑区の高専賃は住民説明が不足と感じた。雨降野区のきょうやんは地域高齢者の活発な利活用が光る。町の先進地。障害者の元気な仕事ぶりが

良かった。あすなろ園。多くの高齢者が笑顔と体操、話しかける。元気村。

西村 雄三

町内の福祉施設を見学させて頂き大変勉強になりました。障害者、又高齢者の施設を見て非常に大変な施設であると再認識させて頂きました。人間が生活するに当たり絶対必要な施設であり関係各位の御努力に敬意を表します。

西澤 きよただ

あったかホーム「恭やん」（雨降野）へ施設研修に訪問し、代表の北川乙彦様や地域のみなさんより日頃の取り組みや運営等、いろいろお話しを伺いました。字の中の空家が、こんなにも生き生きと地域の活性に生かされていて感嘆の想いでした。

鈴木 べんいち

「政治の貧困がここにも」高齢者賃貸住宅を訪れた際「養護施設などに入れない人を受け入れていきます。」との説明。高齢者が老後を幸せに暮らせる施策の充実が政治の責任ですが、政治の貧困がここにも現れている事を実感しました。

西澤 博一

「福祉施設の視察、研修について感じたこと」

精神障害者、知的障害者、重度訪問介護等の官・民各事業者には、福祉の観点でより一層の弱者への国、県の支援が必要ではないかと思った。また、従事しておられる職員方の労働条件等に対して、国、県は改善策を考える必要があると思います。

西山 勝

高齢者賃貸住宅はバリアフリー、防犯設備、24時間有資格者の常駐監視にて安全、安心して居住できる賃貸住宅であるが日常生活を営むため、外構の防護柵、一部緑地を施工するなど居住環境を備える自治体独自の建築基準も必要ではないかと感じました。

前田 広幸

地域の高齢者は地域で支える。地域の子どもは地域でみる。という地域福祉が進むなか豊郷町の地域福祉について考えるきっかけとなる視察でした。宅老では、高齢者がただ集まるだけでなく、子育て中の親子や学校から帰ってきた子供たちも集まれるスペースとして活用されていました。源は高齢者の元気とパワー。すべての地域によりよい地域福祉の形がでることが望ましいと思いました。

質問 小学校卒業までの医療費無料化においては、県下でも先進的に取り組んでいることに対しては、大変ありがたく思っているが、何とか中学校卒業まで医療費無料化にできないかと、3月にも質問したところ

「行財政の効率化を図り、補助金などを勘案した中で検討していく。」という答弁がありました。その後、実施に向けた進捗状況はどうか。

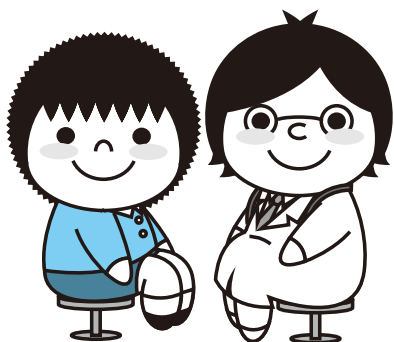
町長 中学校卒業までの医療費無料化については、来年4月から円滑な実施に向けて、現在準備を進めているところです。医療費としては、年間400万円ほど見込んでいる。



北川 和利 議員

中学校卒業までの医療費無料化に向けた進捗状況は！

来年4月の実施に向け準備を進めている



ケアアパートメント 桜3番館



ステップアップ21



デイサービスセンター 元気村



あったかホーム 恭やん



あすなる福祉会

安心・安全のまちづくりは！



佐々木康雄 議員

街頭啓発・重点的パトロール実施

質問

自転車に乗り買い物をする高齢者が手揚げカバンをひつたくれる事件が町内で何件かあり、その犯人も検挙されていません。最近では5月19日彦根市内で、東近江市内では5月5日と19日の2件と近隣でも多く発生しています。犯罪防止に街頭自動カメラ、俗に言う防犯カメラを何ヶ所かに設置することとどうか。

町長

彦根警察署管内で昨年発生したひつたくれる事件は解決したと聞いている。しかし、残念ながら本年4月、5月の2ヶ月間で5件の事件は、未解決です。このため、彦根警察署と連携し、アスト店前で街頭啓発を行った。また、各学区長様に注意を呼びかけ啓発チラシの回覧依頼をした。さらに防災行政無線を通じて、住民にひつたくれるに注意するよう周知徹底を図った。豊郷駐在所には、重点的にパトロールを実施願っている。

一般質問

ここが聞きたい

これらの取り組み効果で、その後発生していない。

街頭カメラの設置は、設置場所、管理方法、個人情報保護法の観点等があり、彦根警察署と相談し十分研究を要すると考える。協議会等の設立についても彦根警察署と相談していきたい。

再質問

豊郷町のイメージダウンにならないよう防犯の取り組みを。

通学路の安全対策は

歩道とより安全な通学路の整備に

質問

小学生の集団登校や集合している所に暴走車輦が突っ込み、死傷者が多く発生している事件が多く、まことに残念でなりません。

町長

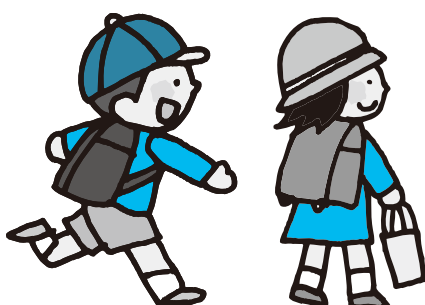
亀岡市で悲惨な事故が発生したことを踏まえて、各校園に幼児、児童、生徒の交通安全や命の尊さを再度指導徹底の通知をした。

再質問

中山道は横断場所を明確にし安全を。

本町では、合併前の昭和29年に旧日枝村の中山道で小学1年生の児童が車のタイヤがはずれ、そのタイヤにひかれ即死した、いたましい事件があつて当時の親は通学路の整備に一生懸命でした。旧両村は財政的に困窮していたので買収はできないため地主から無償貸与で設置した所もありました。このようなことを考えると、通学路の整備が必要であれば、住民の皆様との協力も得られると思います。通学路のあり方と整備について検討は。

また、各校園で通学路の危険箇所等について教職員の指導と見回りや両小学校の多くのスクールガードの皆さん、青少年育成町民会議の皆さん等多数の町民の皆さんから安全の協力を頂いています。中山道等の交通安全誘導を高め、町行政や警察と連携を取り、パトライト、歩道、より安全な通学路の整備に努めたい。



広域行政に対する取組は



湖東定住自立圏で出来る限りの行政サービスを 西村 雄三 議員

質問

我国は急速な人口減少時代に突入すると予想されその度合が著しいとされる地方圏の将来は極めて厳しい状況下にある。人口減少に向けて着実な対応を図って行くべきで生活機能を整備する事はもはや困難であり、選択と集中、集約とネットワークの考えに基づき同じ生活圏に属する自治体の協力体制を強固にする必要有です。当町も1市4町で定住自立圏を締結して効果を發揮して頂いていますが、更に一歩前に進めて広域合併に進めて行く事が重要だと思しますので更なる前進を是非お願いしたい。町長の考えを聞かせて下さい。

町長

過去の一時期に合併に向けての協議を重ねた経過があり平成16年に破綻した事は御承知の通りです。現在各町がそれぞれ特色の有る町づくりを進めている状況、今後1市4町が湖

東定住自立圏形成協定に基づいて推進していく事です。

再質問

当町は7千人強の人口です。民

生費の増え方が非常に多い、年いった方がどんどん増えている。色んな医療費の増加、又介護保険の使用増加も問題です。当町の住民の皆様がここで生活して良かったと言える町造りをしないと税金又各種保険の値上がりでは住民の皆様が町離れが危惧されます。町長にもう少し前向きな発言を求めたいと思う。

町長

合併と言うのは相手があつてこそ進むのです。それ故に如何にして効率の良い行政運営をするのが我々に課せられた今の現状です。行政コストを下げて住民の皆様が質の良いサービスを提供する、現状出来る一番最高の方策だと考えている。

町営施設の

工事施工管理体制の取組は

しつかり品質管理体制で実行

質問

本年度に於いて町の施設の改善並びに補修工事は4億4千5百7拾万円予算計上致していますが、

確保し請負業者に品質管理の徹底をどう指導されるのか。

西山総務主監

私以下職員が肝に

銘じて適正な施行が出来ようよう、完成して頂けるように注意してまいります。

小川地域整備課長

現場管理や事

故に十分注意を図り、設計図書通り十分に管理体制をしつかり取り適正に工事完了を進める。

が、去る入札工事の設計で町の予算の18.7%で落札された業者が居られます。安く施行して頂くのは町民にとって大変有難い事です。私が危惧するのは「安かろう悪かろう」にならないか品質に劣化が起こり結果的に「安物買いの銭失い」になる気がします。当該工事の品質管理体制をどう



鈴木 べんいち 議員

食教育の生きた教材としての

中学校給食の早期実地を

最後は、町の判断になる

質問 食教育の生きた教材としての中学校給食の早期実施について質問する。

① 町長は、豊田中学校の給食の実施について湖東定住自立圏の中で彦根センターへの加入方式で進めたい旨の答弁をしているがその理由を明らかにされたい。

② 1956年に学校給食法の一部改正が行われた際、当時の文部省の通達で始めて、学校給食の教育的意義について具体的な内容が明らかにされたが、その内容を明らかにされたい。(その他の質問は省略)

町長 給食センターとして集約する事により、人件費、食材費、維持管理費などの費用についてコスト縮減が見込めること。また、財政的にも大きなメリットがあること。

教育長 ご質問の通達、確認をしました。

ただ、現物が確認できませんでしたので、答弁を控えます。

再質問 学校給食法第2条の4つの目標(表を参照)は、義務教育で学校目標を達成するために、学校給食に求めるものを明示したものです。また、学校給食に

○ 学校給食法第2条(学校給食の目標)

- 1 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うこと。
- 2 学校生活を豊かにし明るい社交性を養うこと。
- 3 食生活の合理化、栄養の改善および健康の改善を図ること。
- 4 食料の生産、配分および消費について、正しい理解を導くこと。

「この4つの目標は、学校教育法に掲げる義務教育諸学校の目標を達成するため、特に、学校給食に求めるところを明示した。」もの(学校給食法並びに同法施行令等の施行について文部省 昭和29年)

○ 学校給食法の教育的意義について

- 1 栄養士がどのような考えで献立を作成したのか・・・児童生徒に伝えなさい。
- 2 給食調理員がどのように給食を創意・工夫しているのか・・・を子どもたちに伝えなさい。

- 給食は、単に食事を提供するだけではなく、学校教育法の目標を達成する一環としてある。

* 学校給食法第1条(学校給食の目的)

- 1 児童及び生徒の心身の健全な発達に資する。
- 2 国民の食生活の改善に寄与する。

町長

生産者の思い、自然の恩恵、食文化の大切さ、それを教

間委託は学校管理運営を分断し不適切であると言わざるを得ない。やはり、本来の給食は自校方式であるべきだと考えるがどうか。

再々質問

群馬県の高崎市では、今、センター方式から自校方式への切り替えが進められている。高崎市長は、「将来の子どもに投資するの

町長

は無駄ではない」と市長の強いリーダーシップで進められている。町長に強いリーダーシップを求める。

そういう市長もあれば、全部センター方式でやっている市もある。日野町も今、選挙になっているが私は(給食の方法)がどれが正しいとか、正しいとか、言えるのは温かい質の良い給食を提供していくのが。また、日野町や愛荘町でも検討会が開かれたが、結局、全部両論併記(センター方式と自校方式)で、センター方式も自校方式も、それぞれメリット、デメリットがあり、最後は町が判断しないさいと言う形で進められている。

改良住宅譲渡にかかる 修繕費の基準は



改良住宅譲渡チームで今後検討する

今村 恵美子 議員

質問

改良住宅譲渡は、当初計画より大幅に遅れています。譲渡をスムーズに進めるためには、町の譲渡契約後の修繕の基準を明確化すべきではないか。

上地域振興主監

当初、50万円の修繕予算でしたが、実際は約85万から約180万円必要になったケースもあり、対応に苦慮した次第です。

鈴木住民生活課長

当初計画達成は現実的に不可能です。今後の見直しは、改良住宅管理要領を受け、土地価格の変更、譲渡前修繕、入居承継条件等、方針を定め適時判断していきます。

再質問

豊郷町町営住宅管理条例にある修繕の範囲と比べて、今回5戸の譲渡前修繕の実態はどうか、また、今後混乱を防ぐためには

一定の修繕基準が必要だと思いがいかか。

上地域振興主監

雨漏り、床下、白アリ、窓サッシ等、当初予算では足りません。今後は、新たに発足した改良住宅譲渡チームで入居者の修繕希望も聞いて進めていきます。

鈴木住民生活課長

今後の影響ですが、土地価格が下がることが予想されます。そこで、今まで修繕した5戸との整合性を保ちながら、一定修繕価格、上限価格、また仕様なども検討させていただきたいと思っています。

子育て支援施策の

医療費無料化拡大を

来年4月から中学校卒業 まで拡大します

質問

現在、町は小学校卒業までの無料化を実施しています。そこで、町国保会計の平成23年度と平成22年度の小学校6年生までの子どもの一人当たり年間医療費はいくらですか。

神辺保健福祉課長

ご質問の趣旨

は中学生までの医療費無料化に向け必要見込額についてかと思えます。まず、平成23年度の小学校6年生までの子どもの一人当たりの平均年間医療費は、8万7,219円です。次に、就学前医療費無料化だった平成22年度は、11万1,687

再質問

全国的には、医療費無料化が拡大されると医療費は横ばいから多少下がる傾向が出ています。早期に診療機関に受診し重症になる前に早く治療できる点で、医療費無料化拡大は、子育て支援施策として有効であると、医療費

抑制においても有効な施策です。町長は、来年4月から400万円の予算で中学校卒業までの医療費無料化を表明されましたが、所得制限なしの完全無料化実施を強く要望いたします。

給食視察

(3常任委員会合同視察)

6月定例会において「豊日中学校での自校方式によるランチルーム給食の早期実現を求める請願書」が提出されました。

単に「自校方式」と決めつけず、他にも「センター方式」や「弁当注文方式」など、どのような方式がいいのか、慎重に議論し進めていく必要があると考え、今回3常任委員会合同で視察研修を実施しました。

また、以前より各議員から中学校での給食実現に向けて一般質問がなされ伊藤町長も任期中には、必ず結果を出す」と明言されています。

豊郷町議会として周辺地域の視察など、コスト、仕組み、衛生面、ランチルームや給食センターの設置など全てにおいての管理体制をさまざまな方面から検討し、今後早期実現に向け、慎重に審議したいと考えます。

参加者は11名



多賀中ランチルーム



愛荘町給食センター

訂正とお詫び

前回第49号で第5期介護保険料で当町の保険料金が滋賀県下で一番安いと記載いたしましたが、湖東定住自立圏内（彦根市、愛荘町、多賀町、甲良町）で一番安い保険料です。訂正してお詫び申し上げます。

編集後記

平成23年3月11日東日本大震災から1年と5ヵ月が過ぎようとしている。国家を挙げての支援により被災地の復旧復興は、一歩、一歩前に進んでいます。現状では、まだまだ先の見通しがつかない状況で被災地の多くの方々は、大変厳しい日々の生活を送っておられます。

また、この津波で尊い命を奪われた人々に対してご冥福を祈り一刻も早く普段の日常生活に復帰されるよう心から祈っております。

「議会だより（第50号）」を読んでいただいている時期は、真夏で各家庭におかれましては節電に協力されていると思います。まだまだ暑い毎日が続きますので、特に高齢者の方々は、十二分に気をつけられましてこの夏を乗り切ってください。

- 発行責任者 (西澤 博一)
- 議長 堀 常一
- 広報特別委員会
- 委員長 西村 雄三
- 副委員長 西澤 博一
- 委員 佐々木 康雄
- 西澤 きただ
- 前田 広幸